

-----以下本文-----

令和4年9月6日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：「医療系大学における7学科による専門職連携教育の learning outcome に関する質的探索的研究～多学科の学生と教員が参加するアセンブリ における学び～」への協力をお願い

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2016年8月～2017年9月にアセンブリ に参加された学生さんと教職員。2018年3月～2027年9月にアセンブリ に参加される学生さんと教職員。

2. 研究目的・方法・研究期間

アセンブリ 、即ち、医療現場における専門職連携教育に参加した学生の学びと気づきを確認する。医療現場において「患者の健康問題」を解決するために、他学科の学生と連携することができたか。自職種について、他職種について、自職種と他職種、多職種間の連携について、患者中心の考え方、コミュニケーション（職種間、对患者）、チームワーク等についてどのような学びと気づきがあったのか。こうした学習機会は、アセンブリ 以外にあるか。他にアセンブリ教育で学んだことは何か。アセンブリ を経験した後、自分自身に何らかの変化が生じたか。以上についての質的探索的研究を行うことにより、アセ

ンブリ の学習成果を確立することが研究目的です。

研究参加者は、アセンブリ に参加した学生さんと教職員です。アセンブリ を実施した後、インタビュー調査による質的研究手法で行います。倫理審査委員会の承認が得られた後、対象学生さんと教職員を選定します。インタビューは、研究者、学生さん、又は、研究者、教職員によるフォーカスグループで行います。インタビューは、参加者の意識を深く掘り下げて聞くことができる半構造化面接で行います。インタビューは、プライバシーの保てる個室で行います。なお、本研究では、アセンブリ を主たる調査実施場所としますが、それ以外の学習機会も、比較のために研究対象とします。

研究機関は、倫理審査委員会承認日～2027年9月30日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

インタビュー内容は逐語記録化し、それをデータとします。インタビューに関する記録については、全て匿名化します。

参加した学生さんは多学科に亘り、個性が高く、体験による意義も複雑であると思われます。それ故、本研究においては、個別や具体を深く追求し、その深層に潜む意味を見出すことのできる質的データ分析手法が必要です。そこで、データの分析は、大谷の「4ステップコーディングによる質的データ分析手法 SCAT (以下 SCAT とする)」¹⁾に従って行います。

4. 外部への試料・情報の提供

インタビュー内容は逐語記録化し、それをデータとします。インタビューに関する記録については、全て匿名化します。匿名化されたデータを質的データ分析手法 SCAT に従って解析を行います。SCAT を行う際、共同研究者にデータを提供します。この際、共同研究機関の名称等 情報の項目 研究参加者の氏名等 研究参加者等の同意を受けている旨を記載した記録を作成します。これによって、後日必要な場合に情報の流通経路が追跡できるようにします。

5. 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学医学部 臨床総合医学 教授 大槻 眞嗣

本学の研究分担者：

藤田医科大学医療科学部 臨床検査学科臨床生化学 教授
大橋 鉦二

藤田医科大学医療科学部 リハビリテーション学科 基礎作業学 助教

伊藤 美保子
藤田医科大学 医学部 医学教育企画室 兼任教員
後藤 和恵

共同研究代表者：
藤田医科大学 医学部 臨床総合医学 教授
大槻 眞嗣

共同研究機関：
名古屋大学 名誉教授 大谷 尚
一宮研伸大学看護学部 講師 肥田 武

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
藤田医科大学 医学部臨床総合医学
担当者： 大槻 眞嗣(教授)
愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98
電話：0562-93-2336